

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」南栗橋校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		多くの職員で見守りをしてい	入退室時に児童数が増えるので、安全に配慮していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		トイレに踏み台を設置しています。 パーテーションで区切る等、集中でき環境づくりをしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>			
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		毎日のミーティング・月 1 回のプログラムを見直す機会を設けています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		フィードバック時に、保護者から意見や要望を細かく聞くようにしています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			今後も資質向上のため、定期的に研修を行います。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		<input type="radio"/>	面談時の聞き取りや医師からの所見、相談支援事業所からの計画書等を参考にさせていただきます。	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		気付いたこと、変化等あれば、その度、職員全体で話し合っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		通常、個別支援を基本として、イベントで集団支援を行っています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日、職員全体で情報共有のためミーティングを行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				重症心身障害児の受け入れなし。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				重症心身障害児の受け入れなし。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今後、要望があれば行ってきたい。

保護者との連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今後、要望があれば行ってきたい。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		個別支援が基本のため、行っていません。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	毎回、フィードバックの際に相談を受けている。しかし、ペアレント・トレーニング等は行っていません。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後、開催を検討したい。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ（ブログ）にて、発信をしています。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きの書庫で保管しています。	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		イベント案内等、ホームページ（ブログ）で発信している。	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				食事の提供はありません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、事業所内で研修を行っております。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」南栗橋校 保護者等数（児童数）：19人 回収数：19人 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19				・個別の支援スペースとしては十分。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1			・一人につき一人、サポートしてくれるので助かる。 ・専門性の言葉？の意味を理解していないかも。	これからも自己研鑽に励みます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	1			・個別の空間に、注意力が散漫にならない様に配慮されている。	安全にご利用していただけるように配慮します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19				・トイレ前の踏み台が不安定。 ・どこのブースからも時計が見えるようになって良かった。 ・いつもきれいで、心地よく利用できている。	安心できる空間づくりに配慮していきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19				・子どもに合った課題設定、よく考えていただき安心していただける。 ・希望や相談に応じてくださり、助かる。 ・家庭のニーズを聞き、その子に合った支援をしている。	今後も個々に合った支援ができるように、努力いたします。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15			4		

	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18			1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	3	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々、新しい課題が出され、また先生も毎回違うので新鮮。</li> <li>・特性に合わせて工夫されている。</li> <li>・45分間に、色々なことをやってくれるので、子どもは飽きずに、楽しくやっている。</li> </ul>	今後も個々に合った支援ができるように、努力いたします。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1	5	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通っている幼稚園の先生の見学を快く受け入れてくれ、連携が取れています。</li> </ul>	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に、わかりやすかった。</li> </ul>	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17			2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	4	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの接し方を丁寧に教えてくれる。</li> </ul>	今後も相談等に丁寧に対応していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、とても丁寧に説明してくれる。</li> </ul>	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	3		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回でも、親だけの面談をしてほしい。</li> <li>・現状を理解し、状況に応じて丁寧に、安心できるような対応・支援をしている。</li> <li>・その日にやったことへの説明のみ。</li> </ul>	希望に応じて、実施致します。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	5	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親同士が親しくなる機会が欲しい。</li> </ul>	今後、検討していきたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても迅速・丁寧です。</li> </ul>	

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17			2		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11			8		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	1		4		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10			9	・実施されているかわからない。	毎月、避難訓練を実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	14	4		1	・毎回、とても楽しみにしています。 ・先生達が優しく、たくさん話してくれたり、遊んでくれる。 ・全く嫌がらずに通っている。	貴重なご意見ありがとうございます。今後も、楽しんでいただける環境づくりしていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	17	1			・大満足です。 ・感謝です。 ・もう少し、発達を促すためにアドバイスや提案が欲しい。	今後ともご満足いただける支援を目指していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。